

日本フィルハーモニー交響楽団

世界で人気を博す作曲家ジョン・ラター
「私たちの時代」から生まれた、
真の美しき音楽。

ラフマニノフ：
ピアノ協奏曲第3番*

ニ短調 op.30

Sergei RACHMANINOV: Concerto for Piano and
Orchestra No.3 in d-minor, op.30

ラター：
マニファイカト (聖母マリアの賛歌)**

John RUTTER: Magnificat

〈合唱〉**

日本フィルハーモニー協会合唱団

Chorus: Japan Philharmonic Association Choir

〈指揮〉

広上淳一

Conductor:

HIROKAMI Junichi

〈ピアノ〉*

チェ・ヒョンロク

[第7回仙台国際音楽コンクール
ピアノ部門優勝]

Piano: CHOI Hyounglok

〈ソプラノ〉**

砂川涼子

Soprano:

SUNAKAWA Ryoko

©Yoshinobu Fukaya

第229回サンデーコンサート

2019年11月17日(日)

14:00開演 (13:00ロビー開場)

東京芸術劇場コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre

14:00, Sunday, November 17th, 2019,
at Tokyo Metropolitan Theatre

主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協力：仙台国際音楽コンクール事務局

料金

S席 7,000円 A席 5,500円 B席 5,000円 C席 4,000円
Ys(25歳以下) ¥1,500円 Gs(65歳以上) ¥4,000円

2019年8月7日(水)発売

※Ys席は25歳以下の方、Gs席は65歳以上の方が対象で、日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。
※未就学児の入場はご遠慮下さい。 ※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。
※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。
※車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を
日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。

託児サービス
(事前申込制・有料)

HITOWA キャリアサポート株式会社 わらべうた
電話 (0120) 415-306 (土・日・祝祭日を除く平日、午前9時から午後5時まで)。
ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件で」とお問い合わせ下さい。

お申込み
お問合せ

日本フィル・サービスセンター TEL(03)5378-5911 [平日10時~17時] FAX(03)5378-6161(24時間)
Webサイト [席を選んでお申込みできます] www.japanphil.or.jp

チケットぴあ (0570)02-9999 <https://pia.jp/t/japanphil> Pコード:155-490

e+【イープラス】 <https://eplus.jp/>

ローソンチケット (0570)000-407(オペレーター) <https://l-tike.com> Lコード:33001

東京芸術劇場ボックスオフィス (0570)010-296 [10時~19時] URL(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki.jp/i/t/>

人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
創立指揮者 渡邊 暁雄

美しき「私たちの時代」の音楽

ジョン・ラターの《マニフィカト (聖母マリアの賛歌)》

今回の公演では、現代イギリスが誇る人気作曲家ジョン・ラター(1945-)が書いたマニフィカト (聖母マリアの賛歌) を演奏します。崇高さだけではなく、20世紀の宗教曲らしくポップさも盛り込まれた非常に聴きやすい作品です。同じ作曲家が書いたレクイエムと並んで、「私たちの時代」を代表し後年まで残る傑作と言えるでしょう。指揮には広上淳一、ソプラノにはオペラの分野で大活躍を続けるプリマドンナ砂川涼子、そして日本フィルハーモニー協会合唱団が、高らかにマニフィカトを謳いあげます。

前半には第7回仙台国際音楽コンクールのピアノ部門で優勝を果たしたチェ・ヒョンロクをソリストに迎え、ラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を取り上げます。次世代を担う若きアーティストの「今」をお聴き逃しなく。

広上淳一 (指揮)

Conductor: HIROKAMI Junichi

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。26歳でキリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロバス響のポストを歴任。フランス国立管、ベルリン放響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへ客演を重ねる。オペラでもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー。2015年、同響とともにサントリー音楽賞受賞、12シーズン目を迎えている。2017年より札幌交響楽団友情客演指揮者も務める。東京音楽大学指揮科教授。



砂川涼子 (ソプラノ)

Soprano: SUNAKAWA Ryoko

可憐な舞台姿と聴くものの心を震わせる歌声で高い人気を誇るソプラノ歌手。1998年第34回日伊音楽コンクール優勝、2000年第69回日本音楽コンクール第1位、05年 第16回五島記念文化賞・オペラ新人賞、06年第12回リッカルド・ザンドナイ国際音楽コンクールでザンドナイ賞など、数々の受賞歴を誇る。01年からイタリアに留学。00年 新国立劇場《オルフェオとエウリディーチェ》で本格的オペラデビューを果たす。その後、新国立劇場、藤原歌劇団公演、日生劇場、びわ湖ホールにタイトルロールや主要な役柄でたびたび出演。主要オーケストラとの共演、全国各地でのリサイタル、テレビ、ラジオへの出演も数多い。NHKニューイヤーオペラにも毎年のように出演。藤原歌劇団団員。



©Yoshinobu Fukaya

チェ・ヒョンロク (ピアノ)

Piano: CHOI Hyoungrok

韓国生まれのピアニストであるチェ・ヒョンロクは、2009年から2012年までソウル芸術高等学校で教育を受け、その後、ソウル国立大学で学び、2016年に優秀な成績で卒業。2013年に彼は第39回チュンアン音楽コンクールで優勝し、韓国国内で注目を集め始め、ソウル・アートセンターでの江南交響楽団との共演でデビューを飾った。エリーザベト王妃国際音楽コンクール、ブゾーニ国際ピアノコンクール、ゲザ・アンダ国際ピアノコンクールの出場者またはファイナリスト。蘇州金鶏湖国際ピアノコンクールでも賞を獲得。2019年第7回仙台国際音楽コンクールピアノ部門優勝。ソウル国立大学でジュ・ヒソンに師事し、2017年からはオーストリアのザルツブルク・モーツァルテウム大学でバヴェル・ギリロフ教授の下、修士課程で学ぶ。



日本フィルハーモニー協会合唱団 (合唱)

Chorus: Japan Philharmonic Association Choir

合唱活動を通じて、日本フィルハーモニー交響楽団と協同し、市民によるオーケストラ活動を推進することを目的として1973年に創立された。メンバーは様々な年齢や職業の日本フィル協会員によって構成され、故渡邊暁雄氏や小林研一郎氏などの指揮者の下で数多くの演奏会に出演している。これまでに、ブラームス、フォーレ、ヴェルディなどの「レクイエム」に出演。近年では2018年にモーツァルト「レクイエム」(梅田俊明指揮)、2019年5月には東京定期演奏会に於いて、アレクサンドル・ラザレフ氏の指揮でマスカーニ「歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》」に出演して好評を博した。年末の日本フィル第九演奏会には、創団以来毎年出演している。ホームページ<http://jpac.jp/>



© 吉田タカユキ

第九特別演奏会 2019 ベートーヴェン：交響曲第9番 《合唱》 他 2019年8月29日(木)発売 ※12月14日公演は6月20日発売

指揮：広上淳一	12月14日(土)18:00開演	横浜みなとみらいホール	12月15日(日)18:00開演	サントリーホール
指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]	12月21日(土)14:00開演 12月26日(木)19:00開演 12月28日(土)14:00開演	横浜みなとみらいホール 東京芸術劇場 東京芸術劇場	12月24日(火)19:00開演 12月27日(金)19:00開演	東京芸術劇場 サントリーホール